

ホシダ (穂羊歯)

名前の意味：^{いみ やり ほ} 槍の穂のような葉のシダの意味。

分類：シダ類、ヒメシダ科、ホシダ属

好きな場所：明るい^{かわ}の乾いた^{がけ}崖

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：地面から出る細長いぎざぎざのある^{しょうよう}小葉からなる葉、先端の小葉が小さくならず、かえって長くなる、裏に丸い^{まく}膜がついていることがある。この^{まく}膜の^{うら}裏に^{ほうし}胞子がついている。

^{ほうし}胞子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：花はない

葉のある時期：一年中

見分け方：ホシダ属のシダで、千葉県に生えているのはほとんどホシダ。葉はかさかさした感じで、つやがない明るい緑色。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

^{そうごうなんいど}総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)